

外来・ER

(救急外来)

病棟の特徴

当院の外来部門は、一般外来に加え、救急外来（ER）、処置室、内視鏡室、外来化学療法室など、多岐にわたる専門機能を備えた、病院の「顔」となる部署です。限られた情報から迅速かつ的確なアセスメントと判断が求められる場面が多く、日々の業務を通じて、スタッフ一人ひとりの高度な臨床推論能力と協働性が育まれています。特に、救急外来と専門外来（内視鏡、化学療法）を兼ねることで、幅広い疾患、多様なフェーズでの看護経験を積むことができます



看護体制

私たちは、患者さんに安心して受診・治療に臨んでいただけるよう、チーム全体で情報を共有し、思いやりを大切にしたホスピタリティあふれる看護を心がけています。

救急・急変の場面では、医師や多職種と緊密に連携し、安全で確実な初期対応に努めます。また、外来特有の忙しい環境の中でも、先輩看護師が経験の浅いスタッフに寄り添い、日常的な声かけとサポートを通じて、互いの成長を支え合う強固なチームサポート体制を築いています。子育て中の看護師も多く在籍しており、お互いの状況を理解し合い、ワークライフバランスを重視した働き方を実現しています。

教育体制

外来・ERの看護師に不可欠な急変・救急対応力を、日常の業務を通じて体系的に学べる仕組みを取り入れています。

- 知識と経験の共有: 日々の症例や急変対応の**「振り返り」**を重視し、知識や体験を交換し合うことで、アセスメント力や迅速な判断力を実践的に磨き、自己の成長へと繋がります。
- 多様なキャリア支援: 新しい専門部門（内視鏡、化学療法など）への参加や、外部研修の機会を積極的に提供。個々のキャリアプランに合わせた専門性の深化を部署全体で支援しています。

取り組み

- 急変・救急対応力の強化: 定期的な教育と実践の「振り返り」を通じて、病院の最前線としての緊急時対応能力を常に最高レベルに保ちます。
- 個人の成長を支援する配置: 個々のスキルや意欲に合わせた役割分担や配置を工夫し、誰もが自信を持って業務に臨めるよう、日常的な声かけとサポートを徹底しています。
- 円滑な協働体制: 部署間・職種間での円滑な情報共有と協働を推進し、患者さんへシームレスで質の高いケアを提供します。

アピールポイント

- 多様なキャリア支援: 新しい専門部門（内視鏡、化学療法など）への参加や、外部研修の機会を積極的に提供。個々のキャリアプランに合わせた専門性の深化を部署全体で支援しています。
- 看護師としての総合力が向上: 多様な患者さん・疾患・専門外来の経験を積むことで、迅速な判断力と幅広い対応力が養われ、看護師としての大きな自信へと繋がります。
- 安心感のある職場環境: 思いやりを持って支え合う雰囲気の中で、経験やブランクを問わず、誰もが安心して成長できる環境です。
- 専門キャリアの多様性: ER、内視鏡、化学療法など、外来の中で専門性を広げる多様なキャリアパスを選択できます。
- ワークライフバランスの実現: 子育て中の看護師が多く、お互いに支え合う風土があるため、仕事と私生活を両立できる働きやすい部署です。

「救急の経験を積みたい」「幅広いキャリアを築きたい」「子育てと仕事を両立したい」— 外来・ER は、あなたの多様な働き方と成長の意欲を支えます。